

楽しいことは人を育てる

- 訓練ではなく自然な感情で参加
- 遊びの要素をもった活動
- 活動は個々人に設定できる
- 難しくない解りやすい活動
- 動的な環境との循環が作れる



ムーブメント教育(集団活動)の支援による 子どもたちの育ち

- ①仲間意識や社会性
- ②情緒の安定と主体的な問題解決
- ③成功感と成就感
- ④集中力と自己コントロール
- ⑤自主性
- ⑥興味のふくらみ
- ⑦創造性



子どもたちにとってのねらいは？

☆生活年齢でも、6～12歳という幅

個々の子どもたちの発達段階や実態は
もっと幅がある・・・

→同じことをやっても、
それぞれの子どもによって、
その活動の意義やねらいは変わってくる

小学部全体での目標としては・・・

○子どものからだを通しての様々な感覚を楽しく
快適に統合させ、動きの基礎となる経験をする。

○基本的な動き(歩く・走る・跳ぶ・投げる等)を中
心に行い、身体意識(自分の体の意識)を育てる。

○集団でのプログラムを通して、協調性・社会性
(人とのかかわり)を育てる。

まずは、教員が・・・



エキスパート教員から、ムーブ
メント教育・療法について学び、



子どもと同じように動
いてみました。



たのしいなあ～



学習の様子を紹介します



○学習の流れ

- 1 フリームーブメント
- 2 走行・歩行ムーブメント
- 3 ロープムーブメント
- 4 設定ムーブメント
 - ・スカーフムーブメント(4～6月)
 - ・タオルムーブメント(9～10月)
- 5 パラシュートムーブメント
- 6 リラックスタイム
- 7 ふりかえり

子どもとともに

- 1 フリームーブメント(自主性・自発性・コミュニケーション)



- 2 走行・歩行ムーブメント(粗大運動・模倣・身体意識・移動)



- 3 ロープムーブメント(移動・操作・身体意識)



ダンスムーブメント(身体意識・模倣・触刺激)



そして、

ヒーロー 登場!!



4 設定ムーブメント

・スカーフムーブメント(身体意識・操作・移動・触刺激)

スカーフ使って、
いろいろ。

・タオルムーブメント

(触刺激・身体意識・社会性・目と手の協応・色の弁別)

タオルも
いろいろ。

5 パラシュートムーブメント(触刺激・身体意識・社会性)

みんなが大好き
パラシュート！！

7 ふりかえり



みんなで今日の活動を振り返ります！！
 身体の記憶！を言葉や絵の記憶で確認しま
 す。活動を思い出す！！この行為が重要！

楽しかった事や頑張ったことを自分なりに表
 現することが大切☆そして、みんなで認めあ
 うことで、達成感や満足感も増します！！



実践をとおして

○子どもの姿より

☆フリームーブメントの場面で

- ・物や人へ主体的にかかわろうとする姿の増加
- ・遊びの広がり
- ・他学年の児童とのかかわりの広がり

☆自閉症児の変容

- ・その子なりの楽しみ方
- ・友だちの動きを見る
→「やってみようかな」

○教師の声

☆教師のチームワーク

- ・チームとしての取り組み
- ・余裕と一体感

☆子どもを再発見！！

- ・その子なりの参加の仕方
- ・新たな発見

☆そして、自分自身も

- ・児童と一緒に、自分も

笑顔が笑顔を呼ぶ
Happy Smile！！